

私たちが八十里越の工事を行っています。

289号9号トンネルその4工事



西松・熊谷JV

本工事では、豪雨の被害は殆どありませんでしたが、現場に至る289号が大量の流出土砂等により通行できなくなり、7月末より約2ヶ月程工事一時中止となりました。この間、8月は下田地区の水害ボランティア活動への参加、9月中旬には早期再開に向け道路の流出土砂撤去作業を行いました。再開後は、現場の皆が一丸となり、覆土工事における品質・安全の更なる向上に努め頑張る所存です。

国道289号4号橋梁下部その2他工事



小柳建設(株)

5号・6号トンネルの間に架かる4号橋梁の下部工を工事しています。7月末の新潟・福島豪雨では、工事現場へ向かう間の道路で土砂崩れが発生し工事現場へ向かうことが困難でした。幸い現場での被害はほとんど無く、道路復旧完了後の9月26日より本格的に工事を再開し、全員が「絶対に事故は起こさない」を合言葉に八十里越の早期開通に向け頑張っています。

国道289号馬追沢魚道改修他工事



(株)曙建設

平成23年7月新潟・福島豪雨にて被災されました方々に心から御見舞申し上げます。本工事においても、大久保沢・馬追沢で土石流が発生し、また工事用道路も土砂崩れで通行不能となりました。この災害で工事は遅れてしまいましたが、この美しい八十里越の自然を守りながら、皆様の御理解と御協力を頂き工事の早期完成を目指し、職員・作業員一同安全第一で工事を進めています。

国道289号2号橋梁下部その2工事



(株)中越興業

2号橋梁のP1・P2橋脚躯体工事です。本工事着手とはほぼ同時に「集中豪雨7・29(金)」が発生。現場作業は、雨量が中止基準に達した時点で避難したので災害事故が起きず一安心でした。但し、仮橋の河床が洗掘された為、補強対策及び工程見直しという検討課題が残りました。「八十里越の厳しく豊かな自然環境」—これらから始める本工事を職員・協力業者共に、無事故で頑張ります。

国道289号5号・8号トンネル舗装工事



福田道路株 新潟本店

当現場は、八十里越整備事業の一環として、5号・8号トンネルのコンクリート舗装を施工します。トンネル内通行帯の安全確保、工事用道路通行ルールの厳守、危険箇所の事前確認等を徹底し、無事故・無災害を目標に工事の安全施工に努めます。豪、豪雨災害においては、準備中であつた事も被災無く、現場事務所も特に被害はありませんでした。

国道289号7号橋梁下部その2他工事



南会西部・美馬JV

7.29災害当日、私どもは大雨の備えをして下山するのが遅れやつの思いで下山し、現場事務所でもホットしたのもつかの間、叶津川が氾濫し、数人で慌てて上流へ逃げ出したことを思い出します。数日後入山し、河川の決壊、沢・山の土砂崩壊箇所を見に行くと、自然の恐ろしさを改めて痛感すると共に、あの時を思い出し背筋が寒くなりました。この体験は、今後の工事に生かし、事故のない施工に努めていきたいと思ひます。

国道289号5号スノーシェッド下部その2工事



南会西部・美馬JV

自然の猛威は人間が造り出した物をいとも簡単に破壊してしまつた。当現場でも多少の被害を受け復旧作業もやっと終り本工事に取掛かりました。休憩時間に辺りを眺めるといつも通りに色づいた山は美しいが、この険しい山間で作業をして行く上で地震・台風・洪水・土石流等の異常現象には、十分注意して雪が降るまで、全作業員が無事故で取組んでいきたいと思ひます。「ガンバロウ福島」

国道289号4号スノーシェッド下部工事



南会西部・美馬JV

私たちは福島県と新潟県を結ぶ八十里峠の4号スノーシェッド下部工事を施工しています。7月の豪雨災害時には、災害の翌日自衛隊のヘリで救出され、一時工事中止となるなど、生涯忘れられない現場となりました。避難所でのお年寄りの「長年ここに住んでいるが、こんな大雨は初めてだ。」という一言が印象的でした。最後になりましたが、無事故で工事完成を目指します。

国道289号10号・11号トンネル舗装工事



福田道路株 新潟本店

10号トンネルと11号トンネルの排水構造物及びコンクリート舗装の工事を行っています。7月末の豪雨災害では、トンネル内に土砂が流れ込み一時、車両の通行が出来なくなりましたが現在は安全と自然環境に配慮し工事を再開しています。無事故・無災害にて工事を完了し、当事業の早期完成に貢献できるよう職員及び協力業者が一丸となり邁進してまいります。

国道289号叶津改良その2工事



佐賀賀田組 新潟支店

工事場所が2箇所に離れていますが、一つは10号トンネルと11号トンネルの間に7号シェッドを築造します。この場所は沢になっているので、先の豪雨で土石流が発生し、現在は流路の復旧作業のため、本工事は中止されています。もう一つは大森平橋の新潟側でカルバートの基礎を築造します。これも豪雨の影響で着手が遅れ、平成23年は工事用道路の一部を築造するのみとなります。

地域活力基盤創造工事



美馬建設(株)

私たちは、福島県施工区間のうち約3kmにおいて、下層路盤工と排水工を施工しています。現在、八十里越は紅葉が綺麗です。この素晴らしい大自然を守りながら、作業員一丸となって、無事故・無災害での工事完成を目指します。

道路橋りょう整備(基幹)工事(防雪工)



美馬建設(株)

私たちは、福島県側工事用ゲートの近くにおいて、冬期間の雪崩から道路を守るスノーシェッドを工事しています。7月末の豪雨災害により、着工が少し遅れましたが、現在、杭基礎を施工しています。当地方は冬の到来が早いので、降雪時期までの短い期間ですが、無事故・無災害で頑張ります。

国道289号八十里越の通行不能区間19.1kmの早期解消を目指して事業を進めています。



No.23

国道289号
八十里越だより

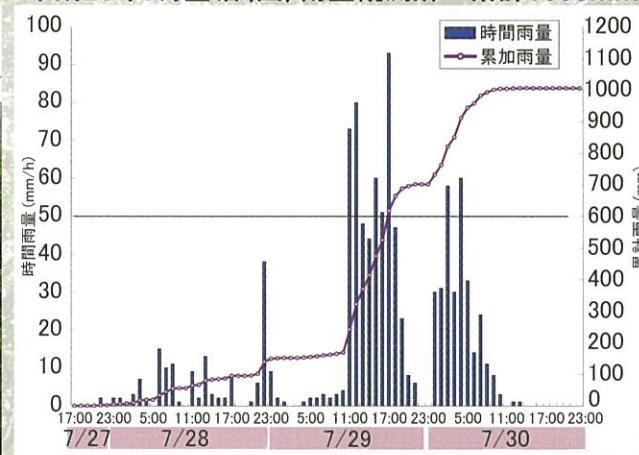
発行:八十里越工事連絡会議
TEL0256-31-1028

平成23年7月新潟・福島豪雨

大谷ダム洪水吐からの放流



平成23年7月笠堀(国)雨量観測所 累計1006mm



平成23年7月27日深夜から降り始めた雨は、国土交通省笠堀雨量観測所で最大時間雨量95mm/h、30日正午までの約60時間で降雨量1,006mmを観測、また福島側の10号トンネル付近の工事現場雨量計では、28日正午から約50時間で降雨量817mmを観測し、平成16年7.13新潟・福島豪雨を上回る雨が降りました。

この雨で、八十里越地区の国道289号は至る箇所、大規模な道路・地山の崩落、沢からの大量の土砂・立木の流出、河川の氾濫による道路の流出の被害を受け、全線で通行ができなくなりました。

また、各工事現場においても、施工途中の構造物が流出するなどの甚大な被害を受け、全ての工事で約2ヶ月ほど工事を行うことが出来ませんでした。

国道289号"八十里越"とは?

国道289号は、昭和45年に国道として認定された新潟県新潟市を起点として福島県いわき市に至る総延長約302kmの道路です。このうち新潟県三条市(旧下田村)から福島県只見町に至る県境部分が「八十里越」であり、実際の距離は八里しかないのですが、あまりの険しさゆえ一里が十里にも感じられたことから古来「八十里越」と呼ばれています。

また、「八十里越」は、司馬遼太郎の小説「峠」の舞台となったことでも知られる歴史の道です。

しかし、現在でも県境部分19.1kmは一般車両が通行出来ない「通行不能区間」となっています。国土交通省・福島県・新潟県では「通行不能区間」解消を目標に289号改築事業を共同で進めています。

この地域は日本でも有数の豪雪地帯のため、半年間しか工事が出来ませんが、着実に事業は進められています。

八十里越改築事業に関するお問い合わせ

国土交通省 長岡国道事務所

〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430番地1 TEL 0258-36-4574

福島県南会津建設事務所 道路課

〒967-0004 福島県南会津郡田島町字根小屋4277-1 TEL 0241-62-5325

国土交通省 三条国道出張所

〒955-0047 新潟県三条市東三条2丁目7-16 TEL 0256-31-1028

新潟県三条地域振興局 地域整備部 道路課

〒955-0046 新潟県三条市興野1丁目13-45 TEL 0256-36-2311

五十嵐川増水



三条市大谷地地区被害状況

国道289号道路流出(五十嵐川沿い)



国道289号道路流出



只見町叶津及び周辺地区被害状況

国道252号二本木橋落橋



国道289号中ノ平橋越流(叶津中ノ平地区)



国道289号道路冠水(叶津入叶津地区)



新潟県側被害状況

①国道289号大江トンネル新潟側坑口付近



②国道289号大江トンネル福島側坑口付近



③国道289号大江雪覆道新潟側付近



④国道289号大江雪覆道福島側付近



⑤国道289号ゲートから2.5km地点



⑥国道289号ゲートから3.4km地点



⑦国道289号ゲートから4.5km地点



⑧国道289号ゲートから7.2km地点



国道289号(八十里越)平面図 (図中の㊦㊧は写真の番号を示します。)



福島県側被害状況

①国道289号ゲート付近



②国道289号ゲートから0.3km地点



⑨9号トンネル福島側坑口付近(対岸地山崩落)



⑧7号橋梁下部その2他工事(A1橋台流出)



⑤10号トンネル新潟側坑口部(背面地山流出)



⑥10号トンネル新潟側坑口部



③国道289号ゲートから0.4km地点



④11号トンネル(左)~10号トンネル(右)坑口部

